



ロータリーに輝きを

Light Up Rotary

国際ロータリー会長

ゲイリー C. K. ホアン

Rotary International

週報



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

— 奉仕活動を通じて、地域社会に貢献！ —

2014～2015 年度 会長 高橋 正典

Vol49 No.12 平成 26 年 10 月 7 日

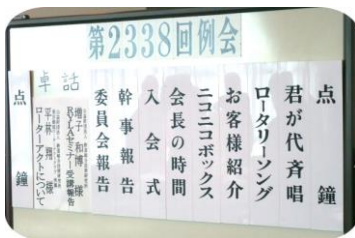
第2338回

例会報告

— 10 月 7 日 —

本日の司会

鳥居 SAA 委員長



ろしくお願いします。黄田会員：丸岡さんの御入会、末長く御厚誼の程宜しくお願い、ニコニコ致します。中村会員：9月行なわれた朋隣会ゴルフコンペにおいて念願の初優勝をすることができました。これで、やっと転勤の準備が整いました。小川会員：孫の運動会でおおいに笑いました。ニコニコ致します。森会員：私ども森事務所で本年3ヶ所目の支店、南浦和支店を10月1日開店いたしました。みな様に感謝しニコニコします。林会員：「芋掘り大会」に感謝して、ニコニコ致します。パック入りのさつま芋しかイメージ出来なかった私が、茎から液がしみ出てくるのを見て命を戴いていることを実感致しました。又、障害者の方々の100%善意で接する態度に感銘を受けました。峰岸会員：雲は多いけど秋らしい青空で気持ちのいい一日になりそうなのでニコニコします。

開会宣言・点鐘

高橋 会長

ロータリーソング

『奉仕の理想』

○ソングリーダー：

峰岸会員



○ニコニコ大賞：

津野田会員



お客様紹介

高橋 会長

○増子 和博 様（公益財団法人 鉄道総合技術研究所）

○平林 翔 様（公益財団法人 鉄道総合技術研究所
東京銀座ローターアクトクラブ所属）

○尾崎 幸信 様（東京武蔵国分寺RC）

○記念ニコニコ：小向会員・岡田会員・多田会員・
関口会員・新海会員・森会員



ニコニコボックス

酒井親睦委員長

尾崎 幸信様（東京武蔵国分寺RC）：

昨日は、新幹線の中に9時間居たために
自クラブの例会に出席できませんでし

た。今日、メークさせていただきます。有難う
ございます。高橋会長・中村幹事：先日

は芋ほり大会無事終了しました。ご協力ありがとうございます。

本日、RYLAセミナー報告、増子様、ローターアクト平林様、よ



会長の時間

高橋 会長

皆様、改めましてこんにちは。東京武蔵国分寺RC尾崎様ようこそおいで下さいました。本日の卓話をお願いしております増子和博様、平林翔様、どうぞよろしくお願いいたします。

先週30日には2014～15年度第1四半期の締めくくりとして、本年度初の奉仕イベント14年振り「芋ほり大会」が開催されました。小椋社会奉仕委員長、イベントの準備段階から、ご尽力いた



だきました鳥居SAA委員長、ご参加いただいた会員の皆様、ありがとうございました。以前開催された芋ほり大会よりは、随分と小規模で時間も短かったようですが、地元開催・手作り感・身障者の方たちとの触れ合い・芋ほり・食事会と、本来の、会員自ら汗水を流し奉仕事業を実施しようとする趣旨には合っていたのではないのでしょうか？芋の畝(掘り出す想定芋の数)の絶対数、芋ほりの時間、参加団体の数等、来年度以降実施するのであれば、問題改善点等踏まえ、次年度に申し送りしたいと考えております。また改めて、場所と自ら芋ほりの場にも参加いただいた、地元国分寺市北町の川窪嘉久治様に感謝したいと思います。さて、10月は職業奉仕月間、米山月間です。5大奉仕の中で職業奉仕の理解、解釈が分かれ、私自身も職業奉仕とは何かと問われますと、答えに窮してしまいます。しかし、ロータリーの友10月号、ガバナー月信10月号の関連記事を読み、今現在の理解としては、企業規模も鑑み答えるとなると、会員自身の職業を通じ、地域社会に貢献することとなると思います。これを実施するために「四つのテスト」の原則が前提となるのは当然です。IT業種での職業奉仕を考えますと、ITは導入するものではなく活用するものだというのが私の信念です。ハードウェア、ソフトウェア、サービスを導入しても、事務処理・経営に役立てなければ意味がありません。バブル時代、コンピュータを導入してない会社は遅れているとか、コンピュータを利用して事務処理を行わなければ体裁が悪い、手書きでは見た目が悪いと大手メーカーと一緒にユーザーに販促した苦い経験があります。コンピュータを導入したことにより、コンピュータ知識のある人材を雇用もしくはメーカー、ソフトウェアハウスより、派遣しなければならず、導入して効率化どころか、間接部門原価が増加してしまったのです。コンピュータ導入と、請求書をはじめとする証票の電子化で見た目は近代化されたようですが、実態としては経営を圧迫してしまった企業は少なくありません。導入にあたって、目的をしっかり持ち、適正な手段(ツール)を活用することの大切さを実感しました。「四つのテスト」に鑑み、ユーザー、メーカー、従業員がシステム化に取り組みれば、こんな事態が避けられたのは少なくないのではないのでしょうか？今後とも、「四つのテスト」に照らし合わせて、経営実践していきたいと思っております。これで、12/46回目の会長の時間を終わります。

◇贈呈式表彰式

会員増強賞・スポンサーピン贈呈：
関口 英朗 会員



米山功労者第2回マルチプル：
高橋 正典 会長



◇入会式

丸岡 真一郎 会員



幹 事 報 告

中 村 幹 事

東京武蔵国分寺RC 尾崎様、公益社団法人鉄道総研 増子様 平林様、ご来訪ありがとうございます。

【幹事報告】①本日各テーブルに配布しましたのでご一読ください。②広島義



捐金102,000円集まりましたので送金しました。ご協力ありがとうございます。③立川創立55周年記念の写真コンテスト奮ってご参加ください。④10月11日は平兵衛まつり9時半集合。14日は移動例会たましん国分寺支店で例会は同じ時間になります。

委 員 会 報 告

出席委員会

近 藤 委 員

会員数：46名 免除：10名 メーキャップ済：2名

欠席：2名 出席率：94.44%

《前々回の訂正》なし

卓 話

◇卓話講師紹介：大平会員

本日は、ライラセミナーに参加されたお二人のお話をうかがいます。お二人とも鉄道総研におつとめです。ライラは、主として、若い人の指導者としての力を高めることを目的としており、そのためのセミナーを毎年1回、2泊3日の日程で行っております。増子和博さんは、今年9月に参加したばかりです。平林翔さんは、一昨年参加し、その後ローターアクトクラブに入会して現在も



その会員として活動されております。私はこれまで2回ほどセミナーの修了式に出席して参加者のお話をきく機会がありましたが、たった2泊3日の合宿なのに人間がとても大きくなったということが強く感じられました。お二人も、セミナーに参加して、それぞれ、大きな感動を受けられたことと思います。これから、そのお話をうかがいます。よろしくお願いいたします。

「RYLAセミナー報告」

増子 和博 様

ご紹介に預かりました、鉄道総研の増子 和博です。まず御報告に先立ちまして、今回のRYLAセミナー参加に際し、スポンサーをして頂いた、東京国分寺ロータリークラブの皆様、並びに関係者の皆様へ感謝の意を申し上げます。みなさま、本当にありがとうございました。私の勤める鉄道総研では7年続けて、RYLAへ参加させて頂いています。私は昨年の小林さんの後を継いで、受講させて頂きました。ここで簡単に私の自己紹介をさせていただきますと、私は現在、鉄道総研で経理部会計課に所属しており、入社は2年目です。業務では主に支払業務や伝票作成を担当しています。現在の目標は、日商簿記1級の取得を目指しています。余談になりますが、今週末の平兵衛まつりでは経理部として、射的の出店を出しますので、皆様お時間がございましたら、ぜひお越し頂ければ幸いです。本年のセミナーは先月の9月13日から15日までの間、府中市にあります、府中市生涯学習センターで開催されました。天候に大変恵まれ、府中の森の自然の中で、大変良い3日間を過ごすことが出来ました。セミナーの目的は、リーダーシップ能力を高めるということです。下はハタチから上は30歳までの男女、36名と一緒にプログラムを行いました。私は今年で24歳であり、メンバーの中ではちょうど真ん中ぐらいの年齢でしたが、大学生から起業家までといった多彩な集団の中で、大きな刺激を受ける事が出来ました。恥ずかしながらこれまで私は、ロータリーに関しての知識がほとんど無く、ライラセミナーに関しても、大学時代のゼミの合宿に似たものかな、という認識でした。しかし実際のセミナーの中では、講師の方々の刺激的なお話や、主体的に取り組めるプログラムなどを数多く体感でき、これまで体験した事のないほど、密度が濃く、素晴らしい3日間を過ごす事ができました。それではまずは簡単に、私が受けた講義の内容を説明させていただきます。一日目は青山学院大学の西澤先生と、株式会社オーガストエー代表の津田さんの講義を受けました。西澤先生のご講義の題材は青山学院大



学副学長時代に携わった、相模原新キャンパスのプロジェクトでした。それまでの青山学院大学は青山の他に厚木や世田谷にもキャンパスがありましたが、それを理科系キャンパスはすべて相模原に移転するという事で理解してもらう為に大変苦労されたそうです。西澤先生はリーダーとは組織が大きくても、トップ自らのヴィジョンをしっかりと示し、信頼関係を構築していく事が何よりも大事である、とご説明下さいました。津田代表は、人間とはなにか物事を考えるとき、無意識に前提条件を置いて発想を狭めてしまいがちなため、新しい事を考えるときにはまずメモする事や書く事を意識して、アイデアを逃がさないようにすべきだと、教えて下さいました。競合相手に負けたとき、「しまった！」ではなく、「まいった！」が口をつくまで考え抜かなければならないという言葉がとても印象に残っています。そして二日目は、慶応義塾大学の高木先生のご講義でした。皆さまの中でご覧になった事のある方もいらっしゃるかもしれませんが、「12人の怒れる男」というアメリカ映画を通じて、討論の進め方や会議の効果を実感する講義でした。また同時に、リーダーは組織をどうやって動かすべきかという事を教えて下さりました。具体的に申しますと、リーダーはメンバーの意見をどんどん引き出し、積極的に議論へ参加させる力が必要だということです。またセミナーでは座学だけでなく、グループディスカッションなど、チームで行うプログラムも数多くありました。初日の夜にはバレーボールもしましたが、バレーボールは声の掛け合いやチームワークがとても重要なスポーツです。そのため初対面の人同士が行うには難しかったのですが、プレー前にあだ名を付け合い、勝利の為に一丸となって体を動かしたことで、終わった後にはそれまで皆が抱いていた緊張や心理的なカベがどこか取り払われたように思いました。セミナーの参加者が36人ということで、その都度6人1チームのグループを作りましたが、グループには年齢や職業、そして国籍も違うメンバーがおり、それぞれの視点から見た意見を出し合い、個性を尊重しながら物事を解決していきました。私がセミナーを受講するにあたり、事前に目標としていたのは、自らの頭で考え、それを主張する力を養っていくという事です。ライラの間では先ほども申したように、メンバーの年齢や性別はバラバラです。しかしグループではそれらに関わらず、お互いを尊重し、かといって本音を隠す事なく言い合い、目標を達成しようと討論しました。最終日には発表が行われました。テーマを申しますと、「トップリーダーとはいかにあるべきか」というものでした。私たちの班は初め、トップリーダーとは組織のトップを指すのか、それともカリスマ的な能力を持つ人物を指すのかで二つに分かれ、それぞれに必要なと思う条件を挙げ合いました。それは例えばグループ

リーダーなら経験や寛容さなど、カリスマリーダーなら独自の感性を持っている、などの条件です。ですが議論がもっと深まっていくにつれて、そうしたすべての条件はリーダーが目標を達成する手段の一つにすぎないという意見に至りました。それはつまり、ヴィジョンを達成する為に自分が行える事を明確化して、実行できる人間がトップリーダーであるという事です。そこに至ってからというもの、議論は更に白熱し、気がつくとも朝の4時になり、外は明るくなっていました。最終的に私たちは劇形式の発表を選びましたが、劇の作成過程で、それぞれがリーダー経験の中でおこなった事、やれなかった事を、腹を割って話し合いました。そこではメンバーが、それまでの人生で背負ってきたものや、経験した事などを垣間見ました。私は正直なところ、挫折をあまり経験した事がなく、今までを過ごしてきました。ですが、グループの中には何度も挫折を乗り越え、今を生きている人も少なくありませんでした。そしてそのメンバーたちは、皆とても強い思いをもっており、その姿勢は輝いていて、学ぶべき信念を感じました。セミナーを受講し、そこから多くの事を学びましたが、この学びは今後活かさなければ意味がありません。今回学んだリーダーシップを自分オリジナルのリーダー像へ高めていくために、日々の業務や社会生活でも、リーダーシップを常に自分に課して過ごしたいと思っています。また、このライラセミナーで出会った仲間たちとは、今後も付き合い続け、お互いを高めあえる存在になると信じています。最後に改めてになりますが、今回こうした貴重な経験を得る機会を与えて下さった国分寺ロータリークラブはじめ関係者の方々にもう一度感謝の意を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

「ローターアクトの活動について」

平林 翔 様

公益財団法人鉄道総合技術研究所の平林でございます。2年前の第9回RYLAセミナーに参加させていただいたのち、東京銀座ローターアクトクラブに入会し、今日まで活動しております。



本日はローターアクトクラブの活動についてご説明させていただきます。ローターアクトは、ロータリーの5大奉仕の一つである青少年奉仕委員会のプログラムとして運営されております。青少年奉仕委員会では、新世代の若者たちが社会生活に積極的な関心を持ち、専門知識開発の機会に恵まれるよう、様々な切り口で青少年を支援しています。中学生・高校生を対

象としたインターアクト、高校生を対象にした交換留学プログラムである青少年交換、2泊3日のセミナー形式で行われるRYLA、高校生のキャリア教育を効果的に推進するインターンシップ、そして18歳から30歳までの学生・社会人が、クラブごとに親睦・奉仕活動を行うローターアクトです。ローターアクトはロータリー同様、各クラブの活動を基本とし、地区がその運営を支えることによって成り立っております。各クラブの活動はロータリーと同じ委員会制で運営されており、国際奉仕委員会、社会奉仕委員会、クラブ奉仕委員会、専門知識開発委員会の4委員会から構成されます。私が所属する東京銀座ローターアクトクラブでは、国際奉仕としてネパールにあるヒマラヤ小学校の支援、社会奉仕として地域のお祭りのお手伝い、クラブ奉仕としてハロウィンパーティー、専門知識開発として工場見学等を行っております。国際ロータリー第2750地区には、国内14、海外2クラブの16クラブ構成されております。各クラブが地域に根差した独自の活動を行っており、清掃活動やチャリティーコンサートの運営などを行っているクラブもあります。また、第2750地区の活動として東北支援活動も行っております。今年度は全3回の東北支援活動を予定しており、先月第1回目の活動として現地を訪問して参りました。地元の農協が主催し、地域の特産品などを販売する「食興祭」というお祭りに参加し、八王子名物の「高尾ポテト」を販売いたしました。また、石巻市や女川町等を視察し、これからの東北支援に求められるニーズを探っております。私も第2750地区ローターアクトの地区役員の一員で、地区年次大会実行委員長を務めております。ローターアクトの地区年次大会は、各クラブや地区の活動をロータリアンやOB・OGの先輩方、友好地区ローターアクター等関係者の方々にご報告する場でございます。今年度は2015年5月23日(土)に開催する予定でございますので、多くのロータリアンのご来場をお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

◇謝辞：高橋会長

閉会の点鐘

高橋 会長

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ 東京国分寺ロータリークラブ

会長 高橋 正典 幹事 中村 早苗
会報委員長 神尾 研二 副委員長 峰岸 正明
事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階
Tel.042-322-6480
編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601
URL: <http://www.tokyokokubunjrc.org/>